

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
1	子育て	<p>保育所には入所していないがちょっと預けたいという一時預かりのニーズが非常に多いと現場では感じている。預かる側としては、保護者との信頼関係ができていない中で急に初めての子どもを預かるというのは、安心面、スキル、人手不足などの問題がある。</p> <p>そのような中で、もし何かあってからでは遅いので、一時預かりを実施している関係機関に対して人手が足りているか等の再度の意識付けをしてほしい。</p>	<p>子育て満足度日本一を目指す取組の中で、ちょっと預けたい時にも安心して子どもを預かってもらえる環境の整備は重要です。</p> <p>H29年度は18市町村150施設で一時預かり事業を実施しており、延べ利用人数は33,491人ですが、保育士不足により受入体制が整わず、一時預かりのニーズに十分に対応できない保育所等もある状況です。</p> <p>県としては、引き続き保育士や子育て支援員等の保育の担い手確保対策や、保育の資質向上研修の実施により、事業の充実に努めていきます。</p>
2	子育て	<p>未婚率が高い現状のなか、適齢期世代の女性から「特に男性のお尻を叩いてほしい」という話を聞いた。昔よくいた「とにかく会ってみて」とお世話してくれる「おせっかいおばちゃん&おじちゃん」が今こそ必要ではないだろうか。出会いサポートセンターに加えて、カップルを成立(結婚)させたら奨励金を渡すような制度があってもよいのではないかと思う。</p>	<p>婚活支援において、お世話焼きさんの存在は重要であり、県では、ブロック別に研修会や指導者養成講座を開催するなど、婚活サポーターの育成に努めてきました。</p> <p>県内では7市町で、婚活サポーターの登録制度を設けており、そのうち、6市町で報奨金を支給しています。他の市町村でも、婚活サポーター創設に向けた動きが出ています。</p> <p>県としては、結婚につながる支援を強化するため、出会いサポートセンターを開設しました。センターでは、これまでの婚活イベントに加え、新たに1対1のお見合いを実施し、成婚につながるようアフターフォローにも力を入れていきます。また、婚活サポーターの研修会を開催するなど婚活支援のネットワーク構築に向けて、婚活サポーター制度の拡大を働きかけていきます。</p>
3	介護	<p>国は介護分野の外国人技能実習生に、2年目の日本語能力試験に「N3」の資格を要件としているが、非常に難しい要件である。外国人技能実習生が日本よりハードルの低い台湾や東南アジアの国に流れないようにするために、日本語能力の要件緩和を県から国に要望してほしい。</p>	<p>H29年11月に新たに追加された介護分野における外国人技能実習制度について、現在2年目までの日本語能力試験の資格要件の見直しが国において検討されています。</p> <p>具体的には、本年6月の骨太の方針では、新たな外国人材の受入れについて、「介護の質にも配慮しつつ、相手国からの送出し状況も踏まえ、介護の技能実習生について入国1年後の日本語要件を満たさなかった場合にも引き続き在留を可能とする仕組みについて検討を進める」ことが盛り込まれていることから、その動向を注視していきます。</p>

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
4	交通安全	<p>高齢者の事故防止対策として、高齢者を対象にした教育や環境整備に加えて、青壮年向けに高齢ドライバーの特徴を教育するなど、高齢ドライバーに受容的な環境づくりの取組を実施してほしい。</p>	<p>事業所における交通安全講習会や更新時講習等の機会を活用し、高齢ドライバーによる交通事故の特徴のほか、高齢運転者標識を表示して運転している自動車に対して幅寄せ等をしてはならないなど、高齢ドライバーの保護義務についての教育を行っています。</p>
5	食の安全・安心	<p>食育大会の議論やオリンピックの食関係のところでもオーガニックの話題がでてきており、世界的な規模でオーガニックの波が押し寄せてきていることが話題になっているが、今回の資料には見当たらない。今はまだ小さくても今後その流れができてくる場合に、県としても何か対策を練っておかないと遅れていくと思うので検討してほしい。</p>	<p>H29年3月に策定した「第2次大分県有機農業推進計画」に基づき、H29年度から「有機農産物生産流通拡大推進事業」を実施し、有機農業を推進しています。</p> <p>この事業では、量販店等の大口需要に対応した有機農産物の生産・流通体制を構築するとともに、消費者との交流を通じた有機農産物に対する理解醸成など、生産から販売まで一貫した取組を行っています。</p> <p>本年度は新たに、ホテルや旅館への働きかけを強化し、今後も増加が期待されるインバウンド需要を取り込みます。</p>
6	食育	<p>食育推進全国大会(6/23-24開催)については、実行委員会等の委員のみなさんと議論しながら練り上げているところだが、「食」は観光にも、経済にも地方創生にもつながっていくものであると思うので、みなさんにご協力いただいたり、興味・関心を持っていただきたい。</p>	<p>食育推進全国大会については、「地域の食文化を守り継承する」、「健康寿命日本一の契機とする」という目標を掲げ、プログラムを検討しました。</p> <p>その中で、地域の郷土料理に改めて光をあてるとともに各地の学生や料理人等により「諭吉カレー」、「諭吉レシビ」、「うま塩ラーメン」等の創作料理も誕生したところです。</p> <p>今後、これらを国民文化祭等につなげるとともに、観光素材としてブラッシュアップしていきたいと考えています。</p>
7	防災	<p>大分県は「喉元過ぎれば、災害が起きないんじゃないか」という県民意識が強い。防災対策を進めるには、例えば防災ベッド(ベッド型耐震シェルター)等を発想を柔軟にして進めていかないと対策が進まない。防災ベッドに対して補助金の対象を拡げてほしい。</p>	<p>災害対応においては、自助共助の取組が重要になる中、県は、地震・津波対策加速化支援事業補助金により、避難生活で必要となる簡易トイレや間仕切り等の購入に対して助成するなど、市町村とともに主に共助の取組を支援しています。</p> <p>御意見のありました防災ベッドの購入費補助についてですが、本補助金の趣旨がまずは共助を主眼にしていることもあり、現状では防災ベッドを補助の対象とするのは難しいと考えています。</p>

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
8	防災	<p>災害時の県民へ情報提供のための防災情報アプリの開発はよいが、緊急時の充電ができなければアプリを活用できないので、インフラとしての充電設備の整備をあわせて検討してほしい。</p>	<p>災害時には、情報の入手が重要であり、熊本地震や昨年度の九州北部豪雨や台風第18号などの豪雨災害の検証を踏まえ、今年度、防災アプリの開発に取り組んでいるところです。</p> <p>御意見のありました充電設備の整備については、重要な取組であるため、県では、自治会等が整備する発電機の購入費用に助成するなど、電源確保の取組を推進しているところです。</p>
9	防災	<p>土砂災害警戒区域等の基礎調査は、これまで漏れている箇所もあるかと思うので、きちんと調査してほしい。併せて、調査・指定して終わりではなく、避難所が危険な場所はないかなど、きちんと調査したうえで整備してほしい。</p>	<p>基礎調査については、H31年度の調査完了を目指し計画的に実施しています。調査にあたっては、対象箇所周辺の土砂災害の恐れのある箇所についても把握に努めています。</p> <p>また、避難所を市町村が指定した後も、県から国へ指定状況を報告する際や、市町村と避難所運営訓練を実施する際など、機会を捉えて避難所の精査等を働きかけていきます。</p>
10	農林水産業	<p>大分県は他の九州各県と比べて水田の比率が高いため、国の減反政策以前に畑地化・園芸化を進めていかなければいけない。実際に畑地化し、園芸品目を導入するにあたっては、水の問題や周囲の農地環境にまで目配せをしてもらえるともっとスムーズに進むと思う。</p> <p>そのような中で、元々農業経営というより地域を守るため、水田を守るために営んでいる集落営農法人では、なかなか園芸化が進みにくい。このままでは、かなりの数の組織が消滅するおそれがあるため、県にもきちんとフォローをお願いしたい。</p>	<p>米の消費量が年々減少する中、持続的に生産者所得を確保していくためには、畑地化による園芸品目の導入を進め、稲作に依存しない構造に転換していくことが重要です。</p> <p>園芸品目の導入にあたっては、水利権や農薬のドリフトなどが問題となるのため、各振興局の畑地化プロジェクトチームを中心に、農業団体や市町村と連携し、地元の合意をしっかりと確保した上で進めていきます。</p> <p>また、地域の重要な担い手である集落営農法人は水田農業を主体とする経営が多く、経営発展には園芸品目の導入などによる経営の多角化が必要と考えています。</p> <p>このため、本年度から集落営農法人への園芸品目導入の本格化に向け、基盤整備による排水対策はもとより、先進農家等を濃密指導員として配置し、基本的な栽培技術習得など、きめ細かな支援を行います。</p>

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
11	農林水産業	<p>畜産農家は小規模な農家が多く、大型化の取組をしっかりとやっていかないといけない。規模が小さいためになかなか単価が上がらず、そのため生産者数が減っていくという負のスパイラルに入っていくことを懸念している。</p>	<p>高齢化等による規模縮小や廃業が進む中、肉用牛の生産を維持・拡大していくためには、基幹的畜産経営体(繁殖牛50頭以上、肥育牛150頭以上)の育成が重要と考えています。</p> <p>そのため、国の畜産クラスター事業等を活用し、経営規模に応じた段階的な増頭支援に取り組んでいます。特に本年度からは、若い世代の基幹的畜産経営体を育成するため、繁殖牛50頭規模を目指す新規就農者の施設整備等を手厚く支援(補助率2/3)するとともに、肉用牛ヘルパーなど作業外部化の全県展開に取り組んでいます。</p>
12	商工業	<p>台風第18号災害に係る小規模事業者持続化支援事業について、3月末までに実績報告を提出というスケジュールがタイトだという話を聞いた。今回の津久見のケースでは、手続きの簡素化等、スケジュールを含めて弾力的な運用してほしい。</p> <p>また、こうした災害は県に限らず全国でも今後起こりうる話であるため、国も巻き込んで、被災事業者が簡素な手続きで申請、事業再開、実績報告できることを踏まえた制度設計を検討してほしい。</p>	<p>災害からの早期の復旧・復興という性格の補助金であることから、これまでも手続きの簡素化に努めてきましたが、今後同様の災害が生じた際も速やかな申請等を行えるよう、最大限手続きの簡素化に努めていきます。補助金の繰越についても繰越枠を早期に設定し、一定の事情を確認次第、繰越を認め、弾力的に対応しています。</p> <p>今後、事業者を支える商工団体や金融機関等各種支援機関を対象に、補助金申請書作成等支援の研修等を行う一方で、国に対しても極力簡素化できるように要請していきます。</p>
13	商工業	<p>小規模事業者支援について、単に経営指導員等の人の増員だけでなく、指導員の質の向上も非常に重要。人を増やすだけでなく、いかに小規模事業者の利益の向上に貢献し、持続可能となることができたかどうかまでしっかりと事業評価をしてほしい。</p>	<p>国は、商工団体が小規模事業者の経営計画を伴走型で支援し、売上を維持・向上させていくために策定する「経営発達支援計画」の認定・公表を行っており、現在、県内27の商工団体のうち、20の商工会議所、商工会が国の認定を受け、実施しています。</p> <p>加えて、経営指導員の資質向上のため、人事交流や研修制度の充実、表彰制度の導入を検討しているところです。</p> <p>事業評価については、経営発達支援計画で定めたPDCAサイクルで効果を評価検証しながら、効果的な事業実施に努めます。</p>

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
14	商工業	<p>津久見の災害を機にお店を閉めようという高齢の店主の話がたくさんあると聞きショックを受けたが、県の支援策があったので何とか残ったという話も聞いた。今の若い人の中には地域に根ざしてそれなりに自分の仕事に対してプライドを持って働きたいというやる気のある方も多くいるので、そういう方と田舎の商店、飲食店等を結びつけ、事業の継承に繋げるような窓口が日常的にあるような地域のあり方も検討していいのかなと思う。</p> <p>また、商店やカレーの味を継承するような事業承継についても総合的な取組の中で何かできればいいと思う。</p>	<p>地元商店等に伝わる地域資源をいかに残していくかという観点から、事業承継を考えていくことも大変重要です。若年者への円滑な承継は、地域経済の維持・発展に資することから、商工団体や金融機関等支援機関を通して、事業者に対する事業承継診断等により実態把握に努めます。</p> <p>加えて、事業引継ぎ支援センターが商工団体、金融機関等と連携し、地元商店等と後継者人材バンク(創業者等事業引継意欲のある方の登録制度)の登録者とのマッチングを促進するとともに、診断で掘り起こした支援ニーズについては、経営力向上や経営改善のための支援により事業の磨き上げを図ることで、円滑な事業承継を実現します。</p>
15	商工業	<p>最近、東京では九州という一括りのものに対して非常に魅力を感じていて、大分県はまず九州ナンバーワンを目指すのがよいのではないかという話を聞いた。県産品の福岡での販路開拓をしっかりと支援していただきたい。</p>	<p>県では、県産品の販路開拓・拡大を図るため、福岡をはじめとした全国の大都市圏での物産展開催に取り組んでいます。特に、工芸品については、H30年7月に大丸福岡天神店(福岡市)において、竹細工、陶器、木工クラフトなどの大分の工芸品の魅力を発信する販売イベントを実施することとしています。</p>
16	商工業	<p>今後、ラグビーワールドカップ等もあるが、インバウンドの問題でキャッシュレスの体制整備が非常に遅れているのでそのインフラづくりへの支援をお願いしたい。</p>	<p>キャッシュレス決済に必要な端末については、現在、無料又は安価のものが登場しており、導入経費に対する支援の必要性は低下しています。</p> <p>国においては、本年4月に「キャッシュレス・ビジョン」が策定され、今後引き続き、産学官で推進に向けた検討が予定されており、国の動きを注視しながら、導入の必要性・メリット・事例・補助金等を照会するリーフレット等を作成し、県商店街振興組合連合会や商工会議所等を通じて普及啓発を図っていくこととしています。</p>
17	観光	<p>大分県の観光では、インバウンドは増えているが国内のお客さんが減っているという現状である。情報発信が弱く、特に関東への情報発信がまだまだ少ないのではないかという話も聞くので、大分の各地の魅力を面として捉えたいうえで更なる情報発信をしていただきたい。</p>	<p>本県最大の強みである温泉とともに飯田高原や久住高原など国内でも他にない観光資源の情報発信を強化していきます。また、県内各地の魅力を発掘し、磨きをかけながら各都市圏でPRしていきます。</p>

第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2.23) 委員意見に対する回答

No.	項目	意見要旨	意見への回答
18	観光	<p>おんせん県おおいたの拠点である別府市において、夜型観光メニューの開発が待たれる。観光客が夜間でも楽しむことができる複数の遊興施設をつくる必要があるとあり、カジノの建設を含めて関係事業者と協働して開発していただきたい。</p>	<p>カジノを含む統合型リゾートは当面国内3カ所を上限とし、最初の区間認定から7年後に見直すということで法案が審議されています。これまで自然豊かな観光資源で誘客を進めてきたことから、カジノなど遊興施設でない夜型観光メニューの開発を検討していきます。</p>
19	教育	<p>私が知る限り、一部の県立高校を除いて、高校の空調は全てPTAが設置している。私が関わっている高校でも特別教室棟の一部にエアコンがついていないということで、PTAでの設置を検討している。今やエアコンなしでは、健康管理の観点からも夏の学習は難しくなっており、大分市では全ての小中学校にエアコンを設置する計画もある。県でも健康管理、人材育成という視点で県立高校へのエアコンの導入を前向きに検討してほしい。</p>	<p>県内でも記録的な猛暑が続いている中、児童生徒の安全、健康を守るため、学校への空調設備の設置は喫緊の課題と認識しています。 官房長官の「学校へのクーラーの設置を支援していく必要がある」との発言もあることから、国の動向にも注視しているところです。 なお、市町村立小中学校の普通教室における空調の整備は、国庫補助金を活用しながら市町村が進めており、H30年4月現在の設置率は小学校で44%、中学校で48%となっています。 一方、県立学校の普通教室におけるH30年4月現在の県による空調の設置率は、国庫補助を活用できる特別支援学校では94%、活用できない高等学校では9%となっており、高等学校ではPTA等による整備も含めると99%になります。 県立高等学校の空調については、これまで利用するにあたり窓を閉める必要がある図書室、パソコン教室、進路指導室等について順次整備しており、今後も整備を急いでまいります。</p>
20	教育	<p>コミュニティ・スクールを円滑に立ち上げて、きちんと効果を出すための予算措置をお願いしたい。また、成功の鍵となるコーディネーターの派遣等についても検討してほしい。</p>	<p>学校運営協議会の運営に係る費用や各種実働部会に係る費用については、ともに設置者である市町村が担うものになります。 県では、「協育ネットワーク連携促進事業」において、学校支援・家庭教育支援の各種活動における費用の補助を実施しており、学校運営協議会の実働部会の活動においても工夫次第で利用できる可能性があります。 また、学校支援活動等の実施にあたって、地域のボランティアが円滑に活動できるよう学校との調整・連絡を行う「協育コーディネーター」を県内各中学校区に配置しているところです。引き続き、「協育コーディネーター」を学校運営協議会で活用し、学校と地域をつなぐ調整役として活躍してもらおうよう、市町村に助言をしていきます。</p>